

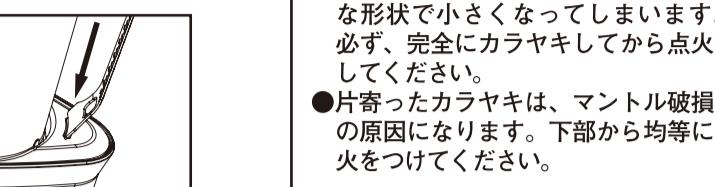
カラヤキ

● 取付けたマントルは、点火前に燃料を出さずに燃やし、灰状にしてください。



注意

● マントルは消耗品です。常時予備のマントルをご用意ください。穴のあいたマントルをそのまま使用するとグローブの破損または異常過熱の原因となります。



注意

● マントルを下部から均等に火をかけて、完全に灰状になると燃やしてください。

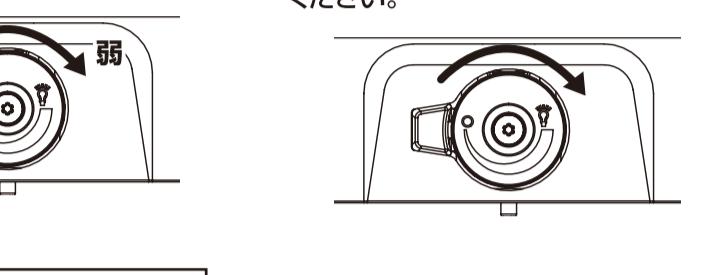
注意

● カラヤキ時の注意
カラヤキしたマントルは、もうくなり難い衝撃や指先でも簡単に破損します。
● カラヤキの途中で、カラヤキせずに点火しまとめ、痛みが激しく、いつか灰状で止まってしまいます。
● 片っ端カラヤキは、マントルを損傷の原因になります。下部から均等に火をかけてください。

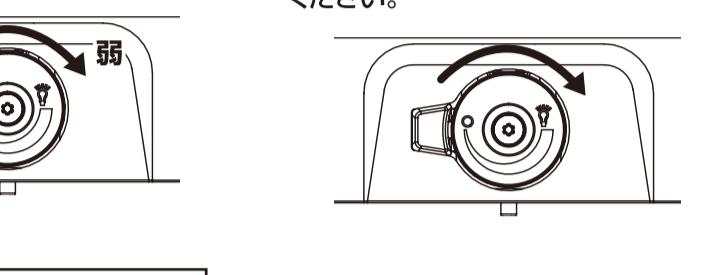
点火・消火

● 必ず、屋外の火の気のない所で操作してください。

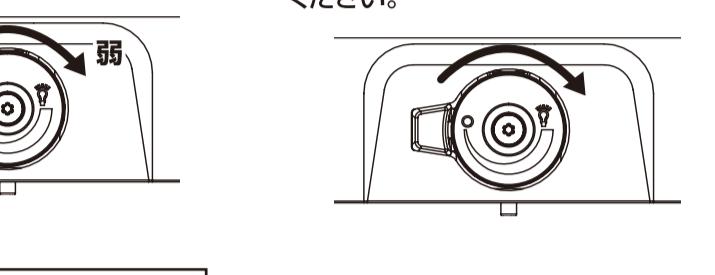
1.器具栓ツマミが右(OFF)の方向に回らない状態にあることを確認してください。



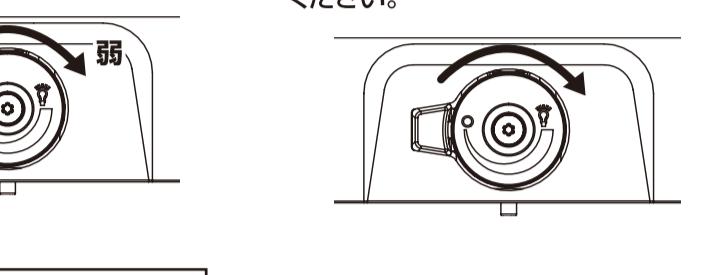
2.光量調節は、器具栓ツマミを左右に回して調整してください。



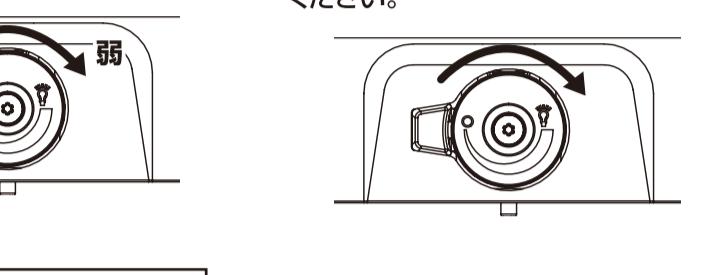
3.消火は、器具栓ツマミを右(OFF)の方向に止まるまで回して確実に消してください。



4.カラスカートリッジ(容器)を左(HIGH)にゆって、器具栓ツマミを右(OFF)の方向に回して点火してください。イグニターボタンを数回押して、マントルに点火します。



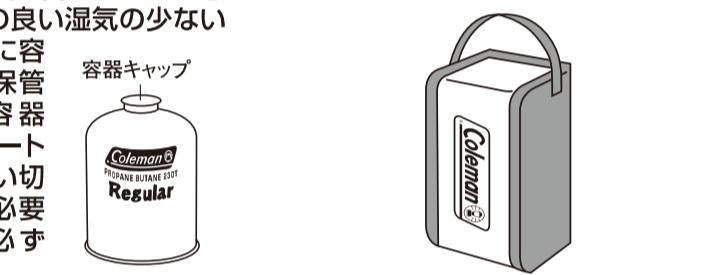
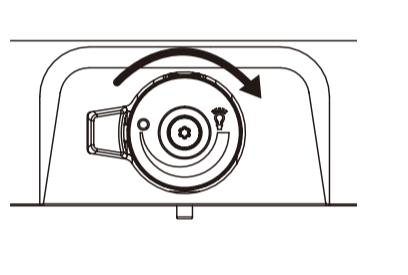
5.イグニターボタンはカチッとき音がするまで確実に押してください。



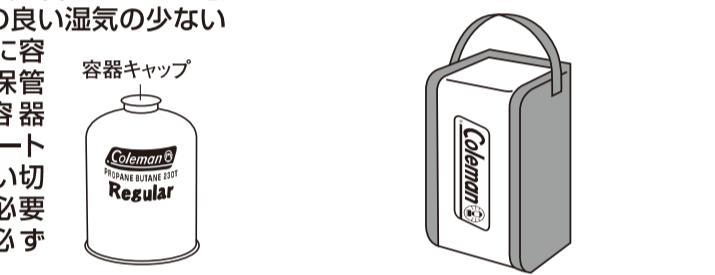
収納・保管

● 必ず、ランタン本体が完全に冷えてから作業を行ってください。

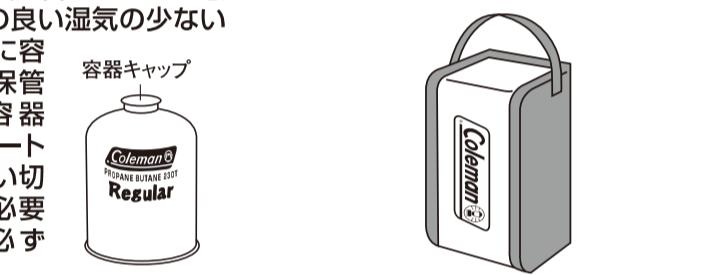
1.器具栓ツマミが右(OFF)の方向に回らない状態にあることを確認してください。



2.ガスカートリッジ(容器)を垂直に左側に取り外してください。ガスストーブ(容器)は側面に書かれある注意を参考に、風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に器具キャップをして保管してください。器具キャップはガスカートリッジ(容器)を使い切らなかった場合、必要なときは必ず保管してください。



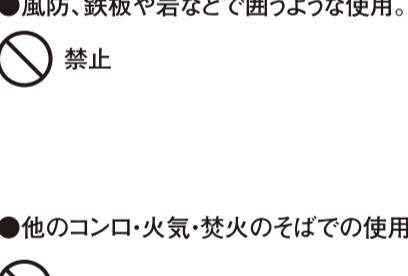
3.ランタン本体は、付属のソフトケースに入れ保管してください。



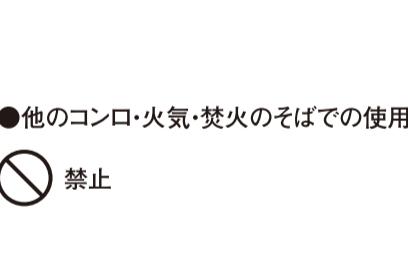
警告 安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ(容器)の取扱いについて

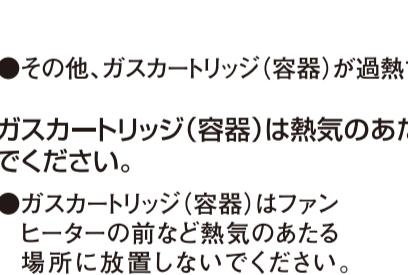
1.以下のようない方は厳禁!ガスカートリッジ(容器)が過熱し爆発の原因となります。



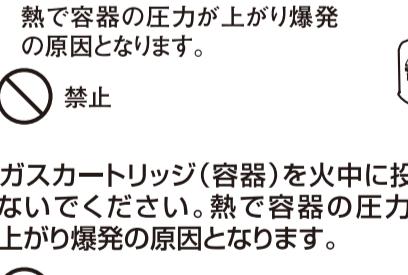
● 風防、鉄板などで囲ふうな使用。



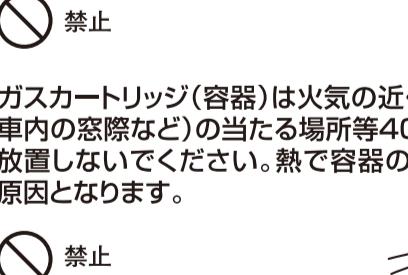
● 他のコンロ・火気・焚火のそばでの使用。



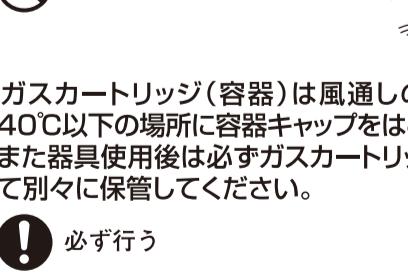
● その他、ガスカートリッジ(容器)が過熱するような行為。



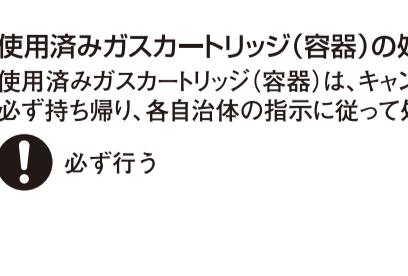
2.ガスカートリッジ(容器)は熱気のある場所に放置しないでください。



● ガスカートリッジ(容器)はファンなどの熱がある場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因になります。



3.ガスカートリッジ(容器)を火中に投じ上げて爆発の原因となります。



4.ガスカートリッジ(容器)は火気の近くや直射日光(窓内や車の中)や炎などの当たる場所等40℃以上になる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因になります。

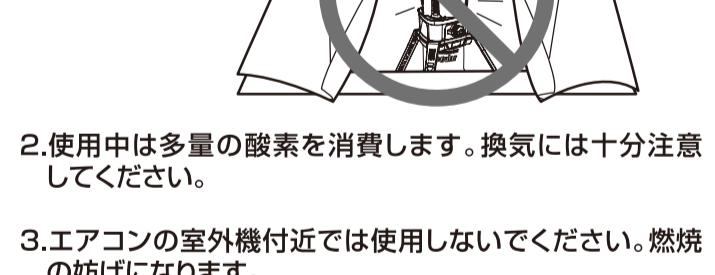
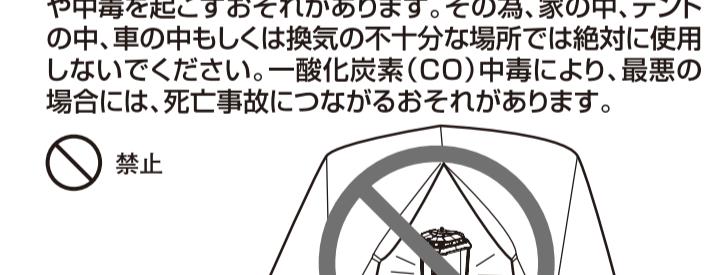
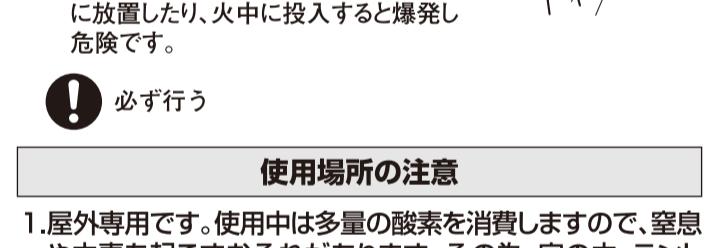


5.ガスカートリッジ(容器)は屋内の狭い湿気の少ない40℃以下の場所に器具キャップをはずして保管してください。また器具使用後は必ずガスカートリッジ(容器)を取り外して別々に保管してください。



6.使用済みガスカートリッジ(容器)の処理について
使用済みガスカートリッジ(容器)は、キャンプ場等に放置せずに必ず持ち帰り、各自治体の指示に従って処分してください。

● 必ず行う



日常の点検・お手入れの方法

日常の点検・お手入れのポイント

● 使用後は、そのつど必ずお手入れをしてください。
● 点検・お手入れは、必ずガスカートリッジ(容器)を取り外して、ランタンが充分冷えてから行ってください。
● 故障または壊損したと思われるものは、使用しないでください。ご家庭での修理は危険ですので、お買い求めの販売店まで連絡ください。

本 体	自動点火装置およびその周辺	ガラスグローブ
● 本用所用洗剤(食器用・清掃器具用)をしまこまされた布を拭いてからも一度洗ってください。 ※シナーや、ベンジンなど、油を含むものは使用しないでください。 ● 片っ端カラヤキは、マントルを損傷の原因になります。下部から均等に火をかけてください。	● 極端部の汚れは、点火不良の原因になります。乾いた布で拭いてください。(このとき、電極部の位置を動かさないようにしてください。) ※ガラスグローブは割れやすいので取り扱いには十分注意してください。 ● 本の丸い部分は、必ずお手入れしないでください。	● ガラス用クリーナーを使って汚れをぬぎ落す。乾いた布で拭いてください。(このとき、電極部の位置を動かさないようにしてください。) ※ガラスグローブは割れやすいので取り扱いには十分注意してください。

長時間使用しないとき

1.ガスカートリッジ(容器)をランタンから必ず取りはずし、器具栓ツマミを右(OFF)の方向に止まるまで回してください。
2.ペンチレーター、本体など洗っているときに、よく洗っているを確認してください。
3.ランタンの各部が充分乾いてから、本体をソフトラケースに収納し、湿度の少ない所に保管してください。
4.グローブはガラス製です。取り扱いには十分注意ください。
5.ガスカートリッジ(容器)は、保管時間が長い、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
※長期保管の場合は、点火しないときに、保管状態が悪くなるとバブリ発生し、ガス漏れの原因となることがあります。
6.ランタンは立てて保管してください。移動する場合は下立てしてください。

7.幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

仕様

品 名	ノーザンノバ®
型 式	2000027890
外 形 尺	約40×35×45(H)cm
重 量	約1.7kg
使 用 器	コールマンTタイプ専用容器
点 火 方 式	圧電点火方式
ガス消費量	約240g/h(レギュラーガス・最大出力時)
燃 燃 時 間	約2~4時間(470g缶使用時)

発売元: コールマン ジャパン株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-3-25 芝浦スクエアビル お問い合わせ0120-111-957

商品のお問い合わせについては、上記へご連絡ください。

Coleman
The Outdoor Company™

NORTHERN NOVA®
取扱説明書

保証書付
保証書は、この取扱説明書の裏表紙についています。

もくじ

警告.....2

注意.....3,4

各部の名称、バーティスト.....4

ランタンの組立て、点火の準備.....5

マントルの取付け.....6

カラヤキ、点火・消火.....6

日常の点検・お手入れの方法.....7

故障・異常の見分け方と処理の方法.....8



このたびは、ノーザンノバをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。
お読みになった後も、この取扱説明書及び保証書を大切に保管してください。
修理・補償を受ける際に必要になります。

製品を正しくお使いいただきため及び、ご自身や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためこの取扱説明書および製品では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

● 警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

● 注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物の損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

一般的な禁止

一般的な注意

必ず行う

接触禁止

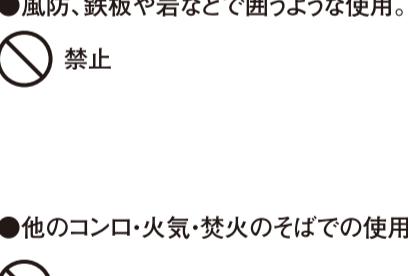
火気禁止

*改良のため仕様および外観を予告なく変更することがあります。

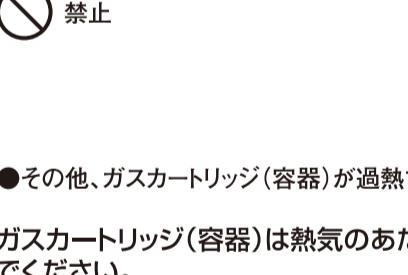
警告 安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ(容器)の取扱いについて

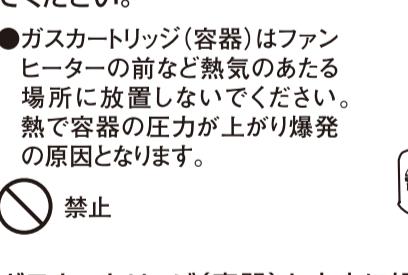
1.以下のようない方は厳禁!ガスカートリッジ(容器)が過熱し爆発の原因となります。



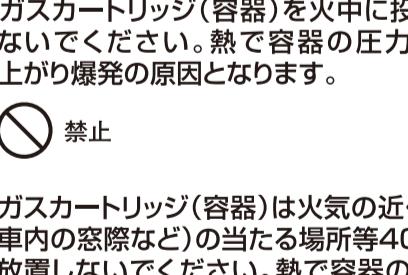
● 風防、鉄板などで囲ふうな使用。



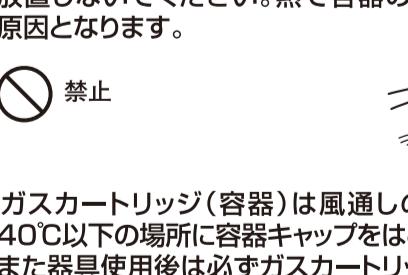
● 他のコンロ・火気・焚火のそばでの使用。



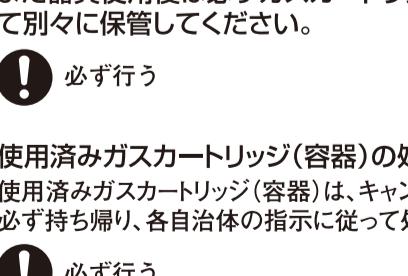
● その他、ガスカートリッジ(容器)が過熱するような行為。



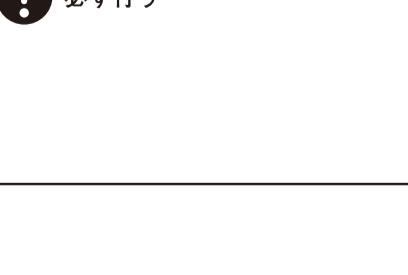
2.ガスカートリッジ(容器)は熱気のある場所に放置しないでください。



● ガスカートリッジ(容器)はファンなどの熱がある場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因になります。



3.ガスカートリッジ(容器)を火中に投じ上げて爆発の原因となります。



4.ガスカートリッジ(容器)は火気の近くや直射日光(窓内や車の中)や炎などの当たる場所等40℃以上になる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因になります。



5.ガスカートリッジ(容器)は屋内の狭い湿気の少ない40℃以下の場所に器具キャップをはずして保管してください。また器具使用後は必ずガスカートリッジ(容器)を取り外して別々に保管してください。



● 必ず行う

